

CONTENTS - 目次 -

2024 年度通常総会	1
第 30 回公開講演会	2
千葉県 JICA 海外協力隊帰国報告会 2024	3
市民大学、公民館連携、学校連携などの「出前講座」	3-7
派遣先からの会員メッセージ・会員の動静	8



e-mail

chibajicasv02@gmail.com



Web site

<http://www.chibajicasvob.com>

■ 2024 年度通常総会

2024 年度通常総会が 2024 年 5 月 12 日（日）15:10 から浦安市国際センターで、来賓として JICA 東京の湯浅 あゆ美次長、千葉デスクの岩沢 久美子氏、青年海外協力隊千葉 OB 会の西村 邦雄会長をお迎えして開催されました。

出席者 17 名、委任状提出者 30 名、計 47 名は会員の 82.5%であり、総会は成立しました。1 号から 6 号までの議案は原案通り承認され、総会は滞りなく終了しました。総会后、第 1 回拡大役員会が開かれ新役員の分掌が決定されました。

会長挨拶 中西 陽典

出席会員数と委任状提出会員数の合計は 47 名であり会員総数 57 名の過半数に達しているため、規約第 9 条に基づき総会は成立していることを宣言します。本日は来賓として JICA 東京から湯浅次長、千葉デスクから岩沢さん、青年海外協力隊千葉 OB 会から西村会長にご参加いただきました。ありがとうございます。議題は第 1 号議案から第 6 号議案までありますので審議いただきたいと思います。



来賓挨拶

JICA 東京 湯浅 あゆ美 次長



来賓挨拶

青年海外協力隊千葉 OB 会 西村 邦雄 会長

2024 年度 新役員人事と分掌

会 長	中西 陽典	(我孫子市)
副 会 長	佐々木 英夫	(流山市)
事務局長	高瀬 義彦	(茂原市)
幹 事	江田 隆正	(千葉市)
幹 事	登内 明	(浦安市)

幹 事	露木 雅美	(浦安市)
幹 事	岡崎 英子	(千葉市)
会計監査	添野 良一	(鎌ヶ谷市)
特任委員-Web 管理	黒田 啓嗣	(野田市)

第 30 回公開講演会

講師：成瀬 猛 元 JICA パレスチナ事務所長、元麗澤大学外国語学部専任教授、元立命館大学客員教授

演題：パレスチナ問題の経緯と今後の展望・日本の和平促進協力

公開講演会（共催：JICA 東京、浦安市国際センター、後援：千葉県、浦安市）が、2024 年 5 月 12 日（日）浦安市国際センター研修室を会場にして開催されました。

講師が JICA に関わったのは、1977 年に青年海外協力隊としてシリアのラッカに赴任したのが最初でした。その後、イラク、エジプト、パレスチナ(イスラエル)と、通算すると 10 年間以上、中東で生活しました。JICA に社会人採用で入構し、2001 年から約 6 年間、JICA パレスチナ事務所の所長を務めました。JICA 退職後、麗澤大学教授、立命館大学客員教授を歴任しました。



講演概要

・**パレスチナ問題**：パレスチナ問題は宗教の争いではない。問題の根底は、一つの土地をめぐる二つの民族の争い（パレスチナ・アラブ人とユダヤ人）である。とはいえ、宗教も関わる。経緯をたどると紀元前にまでさかのぼる。アブラハムは神の啓示を受けて約束の地カナンへ旅立った。そして、神からこの地を与えられた。アブラハムには二人の息子がいた。長男イシュマエルは全てのアラブ人の先祖、ユダヤ人は次男イサクの息子ヤコブ（またの名はイスラエル）の子孫であるとみなされている。

・**ユダヤ人の苦難の歴史**：紀元前、ユダヤ人がバビロニア地方へ捕虜として連行されたバビロン捕囚があった。エルサレム神殿は紀元前 10 世紀頃から建てられていたが、ユダヤ属州のユダヤ人とローマ帝国の間に起こったユダヤ戦争（西暦 70 年）でエルサレムは炎上し、神殿は破壊され西壁のみが残った。これが現存する「嘆きの壁」だ。第二次世界大戦中にナチス・ドイツがユダヤ人に行ったホロコーストがある。19 世紀には、ユダヤ人の民族意識の高まりからシオニズム運動が起こり、パレスチナへの移住が始まった。

・**イギリスの三枚舌外交**：イギリスは第一次世界大戦時に三つの協定を結んでいた：フサイン＝マクマホン協定（中東のアラブ独立・公開）、サイクス＝ピコ協定（英仏露による中東分割・秘密協定）、バルフォア宣言（パレスチナにおけるユダヤ民族居住地建設・公開）だ。これにより第二次世界大戦後のパレスチナ問題が生じるようになった。

・**パレスチナ・イスラエル戦争**：国連パレスチナ分割決議（1947 年）、イスラエルの独立（1948 年）を契機に第 1 次中東戦争が起こり、パレスチナ難民が発生した。中東和平に向けてキャンプ・デービッド合意により占領されていたシナイ半島はエジプトに返還された。しかしパレスチナの自治については協議が決裂した。1993 年にイスラエルとパレスチナ解放機構の間で同意された一連の協定はオスロ合意だが、協定で明文化されたイスラエルとアラブ国家の関係正常化の期待はまだ解決されていない。イスラエルに対するパレスチナの蜂起

を意味するインティファダが起こった。失望した多くのファタハ派が PLO を離れ、ハマスやイスラム聖戦に参加したため、PLO は大きく分裂した。ガザ地区はハマスの実行支配下にある。2018 年、アメリカはガザ地区をテロ国家として、駐イスラエル大使館をエルサレムに移転した。

2023 年、ハマスはガザ地区からイスラエルに 2000 発のミサイルを発射し、同時に国境を越えてイスラエル南部の野外音楽イベントなどを襲撃した。この襲撃で、1300 人以上の非武装市民が虐殺された。イスラエルはガザ地区の空爆を開始した。ガザ地区の死者は 35000 人を超えている。イスラエルは神から与えられた土地と信じているので国際法など関係ない。

・**「平和と繁栄の回廊」**：日本の中東和平政策「平和と繁栄の回廊」構想について紹介したい。イスラエル・パレスチナはヨルダンと接している。イスラエルとヨルダン国境のシェイク・フセイン橋と国境施設の改善、パレスチナとヨルダン国境のダミヤ橋架け替えと国境施設改善、同じくアレンビー橋と国境施設改善、パレスチナとヨルダンに農産物団地を設置し農産物加工・物流拠点にする。上記の橋を利用して物流を促進させ、ヨルダン経由でパレスチナ農産加工品等を湾岸諸国、周辺国、欧州に輸出する。さらに、ガザと西岸を連結し、ガザのサラディーン道路と結ぶ。中東地域には観光資源が多いので観光開発と振興を行う。このようにして、エジプト-ガザ-西岸-ヨルダンを結ぶ「平和と繁栄の回廊」を作り上げる。このような農業と観光による相互交流と信頼醸成の構想はイスラエルとパレスチナの共存共栄に結びつく。この構想に関わる国はイスラエル、パレスチナ、ヨルダン、そして日本だ。私は、このような構想を当時の緒方貞子 JICA 理事長に提案した。

中東和平達成の為に日本だから出来ること：(1) 平和国家日本の国民だからこそパレスチナ問題に常に関心を払う事、(2) パレスチナ、イスラエル両国への偏見を無くし、和平の仲介者としての中立性を維持する事、(3) 唯一の被爆国として、常に平和の重要性を発信する事、と考える。

■ 千葉県 JICA 海外協力隊帰国報告会 2024

千葉県 JICA 海外協力隊帰国報告会 2024 (共催: JICA 東京、浦安市国際センター、後援: 千葉県) が、2024 年 10 月 27 日 (日) 浦安市国際センター研修室を会場にして開催されました。開会挨拶に続き、JICA 東京の田中 哲平氏が来賓挨拶され、近年の JICA ボランティア事業について簡潔に紹介されました。続いて、コーディネータと講師の 3 名で進行されました。分かり易い講演や活発な質疑応答は好評でした。



コーディネータの登内 明氏の企画説明: 新規帰国の報告者確保が困難になっているので、今回、JICA 千葉デスク、SV 会、OB 会が協力して帰国報告会を開催する企画とした。千葉デスクの働きで 2 名の新規帰国者の報告を準備できた。ご参加の皆さんと交流しながら会を進めたい。

宮道 宏彰氏の講演要旨: 会社の情報システム部門に 36



年間勤務後定年退職、タイ王国にコンピュータ技術職種で 2022 年から 2 年間派遣された。派遣先のプリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクールはタイ王立の中高一

貫、男女共学、全寮制の学校、理数系科目に重点をおいた教育カリキュラムで、タイ国内に現在 12 校存在する。学費・寮費は無償。設備、備品等は十分整っている状況。活動目標は、コロナ禍で中止していた Hackathon 大会を 3 年ぶりに再開させ、チュラポーンの先生方中心の運営により、継続的に実施すること。2022 年度の Hackathon タイ予選・決勝大会ともに盛大に開催された。生徒のやる気醸成に向けて 6 テーマ設定して 22 回、延べ約 330 人の生徒にプレゼンテーションを実施した。他方、タイ語でのコミュニケーションは最後まで十分なレベルには到達できなかった。活動期間中の自分のモチベーション曲線の推移を紹介する。モチベーションが十分でない期間があったにせよ、協力隊員の存在自体任国・任地では意味があると思った。

笹瀬 正樹氏の講演要旨: 中学生からの夢はカッコイイ先生になりたい、だった。学生時代に海外に飛び出し、異文化って面白い、よし！いつか海外に挑戦しよう！と心に決めた。小学校教員採用試験のため勉強、でも不合格。今、



挑戦しよう！と決心、JICA 海外協力隊に応募し小学校教育でパプアニューギニア (PNG) に派遣された。PNG の人々は部族に分かれて生活、言語の数は 800！お祭りの儀式で、精霊トゥブアンにある物を投げつけてお祈りをする、その、「あるもの」とは何？正解はビデオで、貝で作られたお金です。現地小学校で先生の授業を見て一方通行的と感じた。PNG の子供達に楽しく学んでほしいと思い、理科・算数の授業、紙芝居の制作、音楽プロジェクトを立案、分かり易い・参加できる授業、笑って学べる、大好きな音楽で学ぶ、を实践した。色々な事に挑戦できて「またこんな仕事をしたい」と思えた事が良かった。その後、経験を活かして教育 NGO 職員としてタンザニアの中学校で 5 年間勤務、一般社団法人を 2022 年設立、2024 年に千葉デスクです。

挑戦しよう！と決心、JICA 海外協力隊に応募し小学校教育でパプアニューギニア (PNG) に派遣された。PNG の人々は部族に分かれて生活、言語の数は 800！お祭りの儀式で、精霊トゥブアンにある物を投げつけてお祈りをする、その、「あるもの」とは何？正解はビデオで、貝で作られたお金です。現地小学校で先生の授業を見て一方通行的と感じた。PNG の子供達に楽しく学んでほしいと思い、理科・算数の授業、紙芝居の制作、音楽プロジェクトを立案、分かり易い・参加できる授業、笑って学べる、大好きな音楽で学ぶ、を实践した。色々な事に挑戦できて「またこんな仕事をしたい」と思えた事が良かった。その後、経験を活かして教育 NGO 職員としてタンザニアの中学校で 5 年間勤務、一般社団法人を 2022 年設立、2024 年に千葉デスクです。

■ 市民大学、公民館連携、学校連携などの「出前講座」

◎ JICA から海外に派遣され、豊富な経験を持つ講師が勢ぞろい、「出前講座」の講師をご依頼ください。

自治体連携講座 八街国際理解大学

第 3 回 2024 年 1 月 27 日 (土) 14:30-16:00

講師: 影山 洵

演題: 身近に接する国際協力活動と意見交換

- ・自己紹介と実務経験紹介: 世界地図で訪問地を紹介
- ・貿易の仕組み紹介: 必要書類と手続き (現品紹介)
- ・サモアとジャマイカの紹介 現地写真と衣装の着用体験
- ・再訪問した JICA のタイ・ロジャナ工業団地支援の報告
- ・参加者との意見交換



Q: 現役でない
JICA ボランティアに
応募できないか?
A: 専門と

語学が採用基準になる。

Q: 日本政府の ODA 支援の思惑はなにか?

A: 純粋に人道支援だと考えられる。

サモアの腰巻や帽子、アクセサリを持参、興味を持たれた。

第 1 回 2024 年 7 月 13 日 (土) 14:30-16:00**講師：露木 雅美****演題：持続性のある国際支援とは**

- SDGs(持続可能な開発目標)を用いた実施事業のプロセスを具体的に解説。
- SDG を達成させるための国際支援の事例：西アフリカ・ガンビ

ア国の「小規模農家の生産支援と市場流通の構築及び小中学校給食への支援」の様子と手法を説明。

- 高度産業人材育成のための事業の事例：パキスタン国ファイサラバード国立工科短期大学の機械学科を対象にした工業訓練機材供与、組織体制と就職支援体制強化等を説明。
- 住みやすい日本国を維持する必要：日本の労働力不足予測に対し、未来を担う若者たちと共に住みやすい日本を維持する必要性を説明。

Q: 八街市の農業離れについて

A: 若者に興味を引かせる地域づくり必要と思う。

第 2 回 2024 年 10 月 26 日 (土) 14:30-16:00**講師：佐々木 英夫****演題：国際理解と日本語教育**

- 日本語は難しいか、日本語を教えるのは難しいのか
- 日本語の歴史から考えてみよう
- 日本語教育の歴史から考えてみよう

- 海外で日本語を教えてみて(韓国、中国での日本語教育、インドネシアでの日本語教育、ペルーでの日本語教育)

- 日本語教育の多様化について

- 多文化共生社会と日本語教育について

認定日本語教師試験制度について、どのようなものか、日本語教師は必ず取得しなければならないものかなどの質問があった。

聴講者の多くが地域の日本語教室で日本語を教えている方々でした。私自身の日本語教師の経験をお話し、日本語教育の現状などについても一緒に考えてみた。聴講者の皆さんと意見交換がする機会となりとても良かった。

公民館連携講座 八街市いきがい短期大学**第 3 回 2024 年 1 月 24 日 (水) 10:00-11:30****講師：中西 陽典****演題：国際協力と SDGs**

テーマに沿い、次の項目毎に話を進めた。

- 多様な社会、多様な文化はどのように形成されたか

- 講師が駐在、訪問した米国、ドイツ、フィン

ランド、イタリア、スペイン、中国と JICA ボランティアとして派遣されたドミニカ共和国、アルゼンチンを中心とした多様な国々、多様な文化の説明

- JICA ボランティアとしての活動

- 多様な国々、多様な文化を知ることに関して、良かった点、困った点、苦労した点

- 世界のグローバル化と国際協力の重要性

- 私たちが直面する課題（気候変動、SDGs 等）と国際協力の必要性

- 私たちにできること

Q: 世界の国々と日本のジェンダー平等、女性の地位の比較、違い、文化、習慣の違いで特に印象に残ったことなど

第 1 回 2024 年 7 月 10 日 (水) 10:00-11:30**講師：露木 雅美****演題：持続性のある国際支援とは**

八街国際理解大学
第 1 回 (2024 年 7 月 13 日) と同じテーマであり、講演内容も同じなので質問・回答を以下に紹介

Q: 日本開発途上国に対する支援政策は変わらないのか？

A: 社会福祉、感染症対策や医療支援などへの技術協力等に変化しています。

Q: 日本やヨーロッパの国はもっと支援が必要ではないのか？

A: 世界中の国々の問題なので共通認識の上で、連携して対策を講じています。

Q: 八街市周辺には、多くの外国人労働者が働いているが、治安悪化が問題になっている。日本企業は外国に生産拠点

を移すべきである。

A: 私もそのように感じています。

参加者の皆さんは、SDGs の標語は聞いていても、その中身の 17 項目の達成目標の内容と意味まではよく知らなかったようであった。今回の講義の SDGs に係る基礎知識をよく理解してくれたと思います。

第 2 回 2024 年 9 月 11 日 (水) 10:00-11:30

講師：三輪 達雄

演題：世界一幸せな国ブータン王国から見た幸せ



ブータン王国の概要・特：立憲君主制、GDP ではなく GNH (国民総生産) を追求。持続可能な発展を目指す。医療費・教育費無料。英語教育などを紹介。

世界一辛いブータン料理：白米をたくさん食べるため、唐辛子をチーズで炒めた料理「エマダチ」がほぼ毎日食べられます。
チベット仏教：不殺生戒、自力本願、輪廻転生などを紹介。
自然との共生：不殺生を守るため害獣駆除しない。鶴の飛来地ボジカ谷の村人は電線設置を拒否、後地中化設置。
幸せになるために：欲望を抑える、「吾、唯、足るを知る」と書かれた竜安寺の手水鉢にこの考えが見られることを紹介。
質問：地球温暖化の影響->氷河湖決壊の恐れがある。
一夫/妻多妻/夫の住->同じ家に住んでいる、など多数

千葉市検見川公民館

2023 年 10 月 29 日 (月) 10:00-12:00

講師：露木 雅美

演題：親子で作ろう！ケニアの料理カランガ・チャパティ



はじめに 30 分ほどケニアの民族と自然を紹介しました。

ケニアの家庭料理の中でも一般的な「カランガ」と「チャパティ」(パン) の料理方法を

を紹介し、6 組 12 名の親子と一緒に作りました。親子共々初めての体験なので、様々な形と厚さのパンになりました。今回参加された親子は、お互いに初めてお会いした方達ですが、料理を通じて次第に打ち解け仲良くなっていくのがよくわかりました。子供達も自ら調理した食べ物を美味しく味わって体験学習のすばらしいところが体験できました。

袖ヶ浦市平岡公民館

2024 年 1 月 20 日 (水) 10:00-11:40

講師：高木 利公

演題：ヨルダン・タイ・ミャンマーに JICA ボランティアとして参加して



「JICA の活動」

「人々の生活と大学生の様子」「観光」と「料理」の四つの項目に分け、ヨルダン・タイ・ミャンマーの三つの国を比較しながら文化

や風習の違いを話され、クイズを交え和やかな雰囲気でした。ヨルダンの結婚式はイスラムの習慣で男性と女性は別々の部屋に集まり、男性は女性の部屋の様子はまったく見ることが許されませんが、同伴された奥様のお陰で知ることができ、新婦と女性だけのパーティーの映像はとても貴重でした。

ミャンマーの大学では JICA だけでなく他の国々からの支援でコンピューターが整備されていました。ハードウェア学部の学生なので、まず簡単なハードウェアを自作してからソフトウェアを動かす指導をしました。タイとミャンマーは仏教国だけあって、年に一回学部主催の法要が営まれます。ミャンマーでは停電が頻繁にありましたが、その際は日本語教室にして大好評でした。

千葉市大宮公民館

2024 年 7 月 15 日 (月) 10:00-12:00

講師：露木 雅美

演題：国際理解「ケニアを知ってケニア料理に挑戦」



・ロビーでディスプレイを使い、東アフリカのケニア国とタンザニア国の国自然環境、文化、そして小学生たちが生活用水取水する状況などを紹介した。

・調理材料、調理台及び器具は、5 人分、講師 1 名分の計 6 人分で調理を実施した。まず、カランガ用の野菜類と肉を加工し、順次に鍋に入れながら中火で 20 分程度煮込んだ。次に、チャパティの生地を 6 等分し、薄力粉とオイルで適当な大きさまで麺棒で 2 回ほど伸ばし、プライパンで 2-3 分ほど焼いた。その後、調理が終了し、カランガは中皿に盛り、チャパティは平皿に載せて完成し、参加者で楽しく試食した。

千葉市検見川公民館**2024 年 10 月 5 日 (土) 10:00-11:30****講師：北垣 勝之****演題：ちょっと知りたい日本の国際協力と SDGs**

国際経験の豊富な講師はメキシコからイタリアへの旅と題して世界を巡って SDGs に関する話題を提供しました。メキシコはラテン系民族の陽気な気質

で、自然豊かな郊外の専門学校での指導をした。家族愛から先祖代々につながる死者の日の風習や伝統とマヤ・アステカ文明を紹介された。中国は広く紀元前から歴史のある国で仏教を通じ日本と共通の理念を持つ。香港での子どもを通じた国際交流を紹介、異民族との付き合い方を話された。カンボジアは東南アジアの国で、今は平和だがポルポトの殺戮拠点だった。職業訓練校の指導と托鉢僧の風景などを例に国の違いが話された。ヨルダンでは職業訓練所の運営の指導を行い、イスラム教の独特の風習と食事などから国際交流の難しさを話された。アフリカでの貧困からの脱出する子供の事例を話され将来への希望が大切であることを話された。SDGs 問題の原点に立ち返って将来の展望を子供たちに期待する思いを伝える内容でした。

柏市令和 6 年度「学校訪問事業」**柏市立酒井根小学校 小学 6 年生 113 名****2023 年 10 月 25 日 (水) 13:25-14:10****講師：白鳥 貞夫****演題：最貧国バヌアツが世界一幸福な国といわれたのはなぜ？**

バヌアツ人は黄色人種とアフリカ人の混血です。小さな島が集まってきているため、地域的な言語や文化が小部族ごとに受け継がれ続け、現在も集

落固有の言語が 100 以上残っています。伝統的な行事をする時は裸の正装になるんです。先進国に比べれば最貧国ですが、天然の食料に恵まれ、助け合いの伝統があり、お金や物がなくても不自由なく楽しく生きてゆけるので、「幸福度指数」で世界トップにランクされたこともあります。私は、商工

会議所でビジネスについて指導するためにシニアボランティアとして赴任したのですが、バヌアツでは、都市部を除けば自給自足と物々交換で生活が成り立っていたのです。そこで「商売とは何か」から始まる初歩の教科書が必要と考え作成しました。元高校教師から申し出があり教科書を日常語に翻訳して講師を務めてくれて好評な定番講座になりました。

柏市立富勢東小学校 5 年生 14、6 年生 18 名**2024 年 7 月 3 日 (水) 10:20-11:10****講師：白鳥 貞夫****演題：最貧国バヌアツが世界一幸福な国といわれたのはなぜ？**

柏市立酒井根小学校（2023 年 10 月 25 日）での講演と同じなので、質問を紹介します。

Q：バヌアツの食事は何を食べているのですか？

A：ヤムイモという日本では山芋のような芋を蒸してたべています。お菓子のようで甘いものはありません。

Q：近年人口が増加しているとのことですが、どうしてですか？

A：40 年以上前から JICA をはじめ世界中からの支援で、病院や薬が普及したことで、子供、特に赤ちゃんの生存率が良くなり、ちゃんと大人に成長できるからだと思います。ですから若い人が多くなっています。

Q：バヌアツには人喰いの習慣があったのですか？

A：昔の話ですが、バヌアツでは部族の間で戦いがあり、その戦士を称え敬意を示すために戦いの終わりに戦士の肉を祀る（食べる）習慣がありました。決して人を食べるために殺すのではありません。

柏市立手賀西小学校**2024 年 9 月 20 日 (金) 5 校時 13:20、5-6 学年
(授業参観日、保護者も一緒に参加)****講師：中村 時夫****演題：素敵なパラオの人々**

手賀西小学校学校の計らいで、お昼の給食を生徒たちと共にごちそうになり楽しい時間を設けていただい

た。パソコン教室で授業参観日に合わせ 5・6 年生合同で、授業参観の保護者会の方々と一緒に講義を聞きました。講義は初めに、学校側で準備したクイズ形式の「パラオの国」について紹介があり、そのあと中村講師の体験の写真を交えてお話しされました。途中、生徒たちに「この橋は日本の援助で作ったのですが、はい！いくらかったでしょう？」など、生徒の集中が切れない工夫をされた講義でした。

Q: パラオの車は？ A: 日本の中古車です。

Q: パラオの美味しいもの？ A: 人々は魚とバナナを食べていて日本人が美味しいものは少ない、カニは美味しかった。

柏市立酒井根小学校

2024 年 10 月 22 日 (火) 5 校時 13:25, 6 学年

講師：中西 陽典

演題：国際協力と SDGs



スライドや資料を示し次の項目で話された。

- 世界の国の数
- 様々な国の異なった文化や習慣の歴史
- 子どもたちが思う日本の文化、習慣の良いところ悪いところ

- 子どもたちができる国際協力
- SDGs の 17 の目標と特に大切なこと
- ドミニカ共和国とアルゼンチンの地理、歴史、人々の暮らし、文化

子供たちからは、特殊な国、大変な国はどこか、驚いた外国の文化、海外で大変なこと等の質問が出された。特に、海外の様子に興味を示し、知っている国への関心を高めた。

自治体連携 船橋市市民協働課 公募型交流会

2023 年 11 月 19 日 (日) 14:30-16:00

タイトル：海外異文化学習講座

講師：登内 明「異文化共生について」

講師：江田 隆正「グアテマラ活動報告およびマヤ文明」

派遣国の地理・自然・歴史、産業・風習や人々の暮らしなどを分かり易く説明しました。さらにシニア海外ボランティア活動の実際、国際協力の現場、活動から得た人生経験などをお話し、参加者と意見交換をしながら進めました。参加者 19 名 (男 11 女 8) 質疑の内容から今回の異文化学習講座の講演趣旨は参加者に十分に理解されたものと考えられました。

ちば市国際ふれあいフェスティバル 2024

2024 年 2 月 11 日 (日) 11:00-15:30

会場：千葉市役所 1 階市民ヴォイド

主催：ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会

共催：千葉市



当会は、「出展のみ」(前回同様)で参加しました。参加団体は全部で 14 団体でした。

当会は、JICA から

派遣されて開発途上国で行った活動の写真パネルの展示と、国際クイズを行いました。クイズ正解者には、会員が派遣国で入手したお土産品などをプレゼントしました。また、参加された皆さんに参加賞としてキャンディーを差し上げました。クイズには、小学生、中学生、外国国籍の方々、市民の方々が参加 (約 30 名) されました。

当会のブースを訪れて、JICA 海外協力隊への応募を考えているが専門資格など必要かといった具体的な質問も数名の方々から受けたので丁寧に説明しました。

会員から寄付された大量の外国コインは一部景品に、余ったコインは「ユニセフ外国コイン募金」に全額寄付しました。

JICA 海外協力隊千葉県庁表敬訪問

- **2023 年度 2 次隊の県庁表敬訪問** が 2023 年 10 月 6 日 (金) におこなわれ、当会からは中西会長が出席しました。派遣隊員は 14 名でした。
- **2023 年度 3 次隊の県庁表敬訪問** が 2024 年 1 月 17 日 (水) におこなわれ、当会からは露木幹事が出席しました。派遣隊員は 7 名でした。
- **2023 年度 4 次隊の県庁表敬訪問** が 2024 年 4 月 15 日 (月) におこなわれ、当会からは江田幹事と露木幹事が出席しました。派遣隊員は 11 名でした。
- **2024 年度 1 次隊の県庁表敬訪問** が 2024 年 7 月 25 日 (木) におこなわれ、当会からは中西会長と江田幹事が出席しました。派遣隊員は 6 名でした。
- **2024 年度 2 次隊の県庁表敬訪問** が 2024 年 11 月 14 日 (木) におこなわれ、当会からは高瀬事務局長と江田幹事が出席しました。派遣隊員は 22 名でした。

派遣先からの会員メッセージ・会員の動静

石橋 明

派遣国：ガーナ 職種：PC インストラクター



ガーナ共和国の首都アクラ市内ダンソマン地区にある職業訓練校で 2023 年 1 月より PC インストラクターとしてのボランティア活動に従事しています。当職業訓練校は電子、電気。服飾、調理など全 10 コースあり、全てのコースの生徒を対象にした ICT 教育が実施されています。当初私は生徒に対してパソコンの基本操作や Microsoft Office (WORD, EXCEL 等) の実習を中心にした授業を行う予定でしたが、当校の教員により十分に対応できているため現在は主に無料の画像編集ソフトの活用についてソフトの選別後 ICT 実習室内のパソコンへのインストールを行い、担当教員への指導を実施しています。一方で、電子科コース教員への指導の要望もあり、電子工学に関する教材作成やオシロスコープなどの計測用機器の取扱いについて生徒及び担当教員への指導を行うとともに、教員室内の機材の整理整頓を進めています。

服部 正

派遣国：コスタリカ 職種：体操競技



2023 年の 1 月にコスタリカに派遣され、子供達に体操競技を教えて約 1 年が過ぎました。日本からは毎日暑い暑いとの知らせが届く中、最高気温が 25 度前後の快適な気温の中毎日を送っています。コスタリカでの活動一つとして、柏市の小学校で、現地からのオンライン講座を実施する機会を与えられ、貴重な体験をすることができました。日本の小学生に、コスタリカの国や環境、子供達の様子などを伝える講座で、私が住んでいる家、街の様子や食事、そしてコスタリカの子供達へのインタビューなどを交えて、紹介しました。同じ内容を聞いたのに、ある児童は 15 時間ある時差に、ある児童は街で演奏するおじさん達に関心を示し、また家の中に靴のまま入っていくことや、スペイン語を使っていることなど意外なところにも興味を示していました。特にうれしかったのは、今までコスタリカは危険な国だというイメージがあったが、話を聞いてとてもいい国だという事がわかり、将来行ってみたいとなったという児童が複数いたことです。今後も試したいと思っています。

渡辺 章

派遣国：タジキスタン 職種：公衆衛生（シニア案件）



ソ連から独立した 15 の共和国の一つで、中央アジアにある国が「タジキスタン共和国」です。人口 1,030 万人、首都はドゥシャンベという町です。ドゥシャンベの意味は、タジク語、ペルシャ語で「月曜日」。その昔、シルクロードの要所であった当地では、月曜日に大きな市場が開催されたことが町の名前の由来です。文化は、ペルシャ文化圏であり、公用語であるタジク語は、イランで使われているペルシャ語と発音はほぼ同じです。国土の 60%

以上が山岳地帯で 7000m 級の山も 2 峰あります。私は、首都にあるアビセンナ・タジク州立医科大学公衆衛生学部で活動を行って 1 年になります。主な活動は、約 200 名いる留学生に対する英語での授業担当、教員へのアドバイスも行っています。公衆衛生学部には 5 つの学科があり、英語での会話が可能な教員は約 100 名の 30% 程度、それ以外の教員とは、タジク語、ロシア語を使って会話をしています。任期もあと 1 年、学生、教員と共に「国際保健のあり方」を考えることを活動とする予定です。

会員の動静

- 会員数 57 名 (2024 年 11 月 2 日現在)
- 2023 年 10 月以降帰国された会員 (敬称略)
 - 島中 一俊 (千葉市) ミャンマー 企画調査員
 - 岡崎 英子 (千葉市) ニカラグア 音楽
- 2024 年 10 月現在派遣中の会員 (敬称略)
 - 石橋 明 (山武市) ガーナ PC インストラクター
 - 服部 正 (八街市) コスタリカ 体操競技
 - 渡辺 章 (松戸市) タジキスタン シニア案件/公衆衛生

編集後記：2024 年度の当会イベントを 10 月まで振り返りました。公開講演会、帰国報告会、それに「出前講座」と内容豊富なので 8 ページに収めるため短い文章表現になってしまい、惜しいなと感じています。この「SV ニュース千葉」以外に「SV レター」にも詳細記載した記事もありますのでご一読下さい。新規の帰国者もできました、今後の発表を期待しましょう。